

クーンさんの小坂訪問

10月17日、小坂収容所（仙台第9分所）にいたフィリップ・クーンさんと息子のマイケルさんが、秋田県小坂町を訪問しました。クーンさん父子の他、奉天の収容所にいたアーウィン・ジョンソンさんと妻のアンさん、亡夫が九州の宮田収容所にいたジェニングスさんも同行しました。

小坂町は十和田湖の南に位置し、一行は青森空港から車で1時間半以上かけて小坂入りしました。この町はかつて日本の四大銅山の1つとして繁栄し、クーンさんもこの鉱山で使役されましたが、今、鉱山は閉鎖され、精錬施設はリサイクル工場に変わりました。最盛期に建設された鉱山事務所や芝居小屋（現在はどちらも小坂町が所有）は国の重要文化財に指定されて、多くの観光客を集めています。

一行はまず芝居小屋「康楽館」へ。小坂町長の堀越氏や元助役で社会福祉協議会会長の工藤氏をはじめ、町役場の人々の歓迎を受けました。康楽館は明治期に建てられた芝居小屋ですが、今も現役で活躍しており、一行は人力で回る舞台に



康楽館にてクーン氏一行と町長や元助役など



小坂鉱山事務所前にてクーン&ジョンソン両氏

あって、とても登ることができず、遠くから眺めただけだそうです。

その夜は大館市内のホテルに宿泊し、翌日、秋田空港から京都に向かいました。

思わず歓声を上げたそうです。

次に「小坂鉱山事務所」へ。鉱山の歴史などが展示されている館内を見学し、クーンさんから堀越町長に記念のプレートが贈呈されました。その後、収容所について詳しい元助役の工藤氏と懇談しました。工藤氏の父が終戦直後、捕虜に頼まれて鶏と投下物資を交換したなどの話が出ると、何とその捕虜がクーンさんだったとのこと。思わぬ接点にクーンさんはとても喜ばれたそうです。

収容所跡は、今は鬱蒼と樹木が茂る丘の上に



クーン氏より記念プレート贈呈

（同行した外務省の若杉友紀さんの報告をもとに笹本妙子記。写真も若杉さん提供）